

ユニテクス・プリントフィルタ UPF

LIPS4C プリント・フィルタ

USERS MANUAL

まえがき

本書は、LIPS4C 用プリント・フィルタプログラムについて記述したものです。
本マニュアルは、当社製品のSuperLayout（スーパーレイアウト）で編集し、印刷したものです。

* 本書中の社名や製品名は、各社の商標もしくは登録商標です。

ご注意

本書は著作権法の保護を受けています。本書の一部あるいは全部について、株式会社ユニテクス・ジャパンから文書による承諾を得ずに、いかなる方法においても無断で複写、複製することは禁じられています。

本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。

弊社はお客様の機器運用に関するいかなる損害の責任も負いません。

目 次

第 1 章 テキスト・フィルタ	1
1.1 使用方法	1
1.2 オプション	2
1.2.1 解像度	2
1.2.2 給紙装置	2
1.2.3 用紙サイズ	3
1.2.4 用紙方向	3
1.2.5 マージン	4
1.2.6 漢字書体	4
1.2.7 欧文書体	4
1.2.8 文字セット	4
1.2.9 印字の向き	5
1.2.10 文字サイズ	5
1.2.11 行間サイズ	5
1.2.12 漢字コード	5
1.3 使用例	6
1.4 制御コードについて	6
第 2 章 イメージ・フィルタ	11
2.1 使用方法	11
2.2 オプション	12
2.2.1 解像度	12
2.2.2 給紙装置	12
2.2.3 用紙サイズ	13
2.2.4 用紙方向	13
2.2.5 マージン	14
2.2.6 白黒印刷	14
2.2.7 ディザ制御	14
2.2.8 ハーフトーン	15
2.2.9 ガンマ補正	15
2.2.10 カラーバランス	15
2.2.11 コントラスト	16
2.2.12 彩度	16
2.2.13 明るさ	16
2.2.14 X方向スケール	16
2.2.15 Y方向スケール	17
2.2.16 フィット	17
2.2.17 X方向配置	17
2.2.18 Y方向配置	17
2.2.19 レイアウト	18
2.3 使用例	18

テキスト・フィルタ

標準入力からのテキストデータに LIPS のコントロールコードを付して標準出力より出力します。

1.1 使用方法

フィルタを使用してプリンタへテキストの出力を行なうには、以下のように行いません。

lp (SVR4)

lpスプーリングシステム (その1)

OS

Solaris 2.X
NEWS-OS 6.X
EWS-UX11.X
UnixWare 2.XJ
EPSON日本語SVR4
SCO OpenServer

書式

`lp -d clips4ct [-y オプション*1] テキストのファイル名`

lp (SYSV)

lpスプーリングシステム (その2)

OS

HP-UX9.0以上
IBM AIX 4.1以上

書式

`lp -d clips4c -o text [-o "オプション*2"] テキストのファイル名`

lpr (BSD)

BSD lpr

OS

SUN-OS 4.1.X
NEWS-OS 4.X

書式

`cat テキストのファイル名 | upfclips4ctf [オプション*2] | lpr -Pプリンタ名`

注) プリンタ名は、「/etc/printcap」に登録された LIPS 用のスルーエントリーに読み変えてください。



- *1 オプション書式は、本マニュアルの「lp 起動」を使用します。
 - *2 オプション書式は、本マニュアルの「直接起動」を使用します。
- ulp (UPF-Server) の場合は、本マニュアルの「直接起動」を使用します。

1.2 オプション 本フィルタは、以下のオプションにて各種設定を行なうことができます。オプションを省略したり、オプションの書式を誤った場合には初期値にて動作します。

1.2.1 解像度 解像度を設定します。（本設定は、無視します。）

書式	直接起動)	-r n1
	lp 起動)	dpi=n1
パラメータ	n1 = n	... 解像度 [n=整数]
初期値	なし	

1.2.2 給紙装置 給紙装置を選択します。

書式	直接起動)	-pu n1[,n2]
	lp 起動)	pinput=n1=n2
パラメータ	n1 : 給紙装置	
	n1 = 0	... プリンタの設定に依存
	1	... 標準給紙装置
	2	... オプション給紙装置
	3	... フロントトレイ
	n2 : ビン番号	
	n2 = n	... ビン番号 [n= 整数]
初期値	プリンタの設定に依存	

1.2.3 用紙サイズ 用紙サイズを設定します。実際に設定可能な用紙サイズはプリンタに依存します。プリンタのマニュアルをご覧ください。

書式	直接起動)	-ps n1[xn2]
	lp 起動)	paper=n1[xn2]
パラメータ	n1 : 用紙名称、または用紙の幅	
	n1 =	A2 ... A2
		A3 ... A3
		A3+ ... A3ノビ
		A4 ... A4
		A5 ... A5
		A6 ... A6
		B4 ... B4
		B5 ... B5
		LT ... Letter
		HLT ... Half Letter
		LG ... Legal
		EXE ... Executive
		GLG ... Government Legal
		GLT ... Government Letter
		B ... Ledger
		F4 ... F4
		PCARD ... はがき
		MON ... Monarch
		C10 ... Commercial 10
		DL ... DL
		C5 ... C5
	w	... 幅 [w= 実数(単位ミリ)]
	n2 : 用紙の高さ	
	n2 =	h ... 高さ [h= 実数(単位ミリ)]
初期値	A4	

1.2.4 用紙方向 用紙方向を設定します。

書式	直接起動)	-po n1
	lp 起動)	landscape
パラメータ	n1 =	0 ... ポートレイト(縦置き)
		1 ... ランドスケープ(横置き)
初期値	ポートレイト	

1.2.5 マージン トップ、ボトム、レフト、ライト・マージンを設定します。

書式	直接起動)	-pm n1 n2 n3 n4
	lp 起動)	margin=n1:n2:n3:n4
パラメータ	n1 = n	... トップ・マージン [n= 実数 (単位ミリ)]
	n2 = n	... ボトム・マージン [n= 実数 (単位ミリ)]
	n3 = n	... レフト・マージン [n= 実数 (単位ミリ)]
	n4 = n	... ライト・マージン [n= 実数 (単位ミリ)]
初期値	それぞれ5ミリ	


1.2.6 漢字書体 漢字（2バイト系）書体を選択します。
実際に設定可能な漢字書体はプリンタに依存します。

書式	直接起動)	-fk n1
	lp 起動)	kfont=n1
パラメータ	n1 : 漢字書体名称 * 1	
初期値	明朝体旧JIS (Mincho-Medium.J78)	

1.2.7 欧文書体 欧文（1バイト系）書体を選択します。
実際に設定可能な欧文書体はプリンタに依存します。

書式	直接起動)	-fa n1[=1]
	lp 起動)	afont=n1
パラメータ	n1 : 欧文書体名称 * 2	
初期値	明朝体 (Mincho-Medium-H.ROMA)	

書体の文字ピッチがPS（プロポーションアルスペース）の場合、書体名称に「=1」を追加して下さい。1.3 使用例の書体指定（6ページ）をご覧下さい。

 * 1、* 2の書体名称とは、フォント名称とグラフィック名称をピリオドでつないだものです。n1=フォント名称.グラフィック名称
フォント名称、グラフィック名称については「書体名称一覧」を参照して下さい（7ページ～9ページ）。

1.2.8 文字セット 欧文（1バイト系）の文字セットを選択します。実際に設定可能な文字セットはプリンタに依存します。プリンタのマニュアルをご覧下さい。

書式	直接起動)	-cs n1
	lp 起動)	charset=n1
パラメータ	n1 : 文字セット	
初期値	プリンタに依存します	

1.2.9 印字の向き 印字の向き（横書き / 縦書き）を選択します。

書式	直接起動)	-fo n1
	lp 起動)	vttext
パラメータ	n1 = 0	... 横書き
	1	... 縦書き
初期値	横書き	

1.2.10 文字サイズ 文字サイズ（文字の幅と高さ）を設定します。

書式	直接起動)	-fs n1 n2
	lp 起動)	fsize=n1:n2
パラメータ	n1 = n	... 文字の幅 [n= 実数(単位ポイント)]
	n2 = n	... 文字の高さ [n= 実数(単位ポイント)]
初期値	それぞれ10ポイント	

1.2.11 行間サイズ 行間サイズを設定します。

書式	直接起動)	-ls n1
	lp 起動)	lspace=n1
パラメータ	n1 = n	... 行間サイズ [n= 実数(単位ポイント)]
初期値	文字の高さの1.2倍	

1.2.12 漢字コード 入力漢字コードを指定します。

書式	直接起動)	-fc n1
	lp 起動)	kcode=n1
パラメータ	n1 = 0	... EUC
	1	... Shift-JIS (MS-KANJI)
	2	... JIS
初期値	EUC	

第1章：LIPS4Cプリント・フィルタ（テキスト・フィルタ）

1.3 使用例 テキストフィルタのオプションの使用例を以下に記述します。

用紙サイズ指定 用紙サイズをB5にしたい場合

```
lp (SVR4)            lp -d clips4ct -y paper=B5 XX.txt
lp (SYSV)            lp -d clips4c -o text -o "-ps B5" XX.txt
lpr (BSD)            cat XX.txt | upfclips4ctf -ps B5 | lpr -Pclips4c
```

用紙サイズとマージン指定 用紙サイズをB5、マージンを 上 5mm / 下 14mm / 左 25mm / 右 20mm にしたい場合

```
lp (SVR4)            lp -d clips4ct -y paper=B5 -y margin=5:14:25:20 XX.txt
lp (SYSV)            lp -d clips4c -o text -o "-ps B5 -pm 5 14 25 20" XX.txt
lpr (BSD)            cat XX.txt | upfclips4ctf -ps B5 -pm 5 14 25 20 | lpr -Pclips4c
```

書体指定

欧文書体 クーリエにしたい場合

```
lp (SVR4)            IP -d clips4ct -y afont=Ncourier.ISO_JPN XX.txt
lp (SYSV)            IP -d clips4c -o text -o "-fa Ncourier.ISO_JPN" XX.txt
lpr (BSD)            cat XX.txt | upfclips4ctf -fa Ncourier.ISO_JPN | lpr -Pclips4c
```

lp (SVR4) シンボルにしたい場合（文字ピッチが PS なので、書体名称に「=1」を追加します。）

```
IP -d clips4ct -y afont=Symbol.SYML=1 XX.txt
lp (SYSV)            IP -d clips4c -o text -o "-fa Symbol.SYML=1" XX.txt
lpr (BSD)            cat XX.txt | upfclips4ctf -fa Symbol.SYML=1 | lpr -Pclips4c
```

漢字書体 ゴシック体にしたい場合

```
lp (SVR4)            IP -d clips4ct -y kfont=Gothic-Medium.J78 XX.txt
lp (SYSV)            IP -d clips4c -o text -o "-fk Gothic-Medium.J78" XX.txt
lpr (BSD)            cat XX.txt | upfclips4ctf -fk Gothic-Medium.J78 | lpr -Pclips4c
```



テキストフィルタ - では、テキストデータの中にESCシ - ケンス等のプリンタ固有の制御コマンドを入れておき、プリンタに出力することはできません。

1.4 制御コードについて 制御コードについて記述致します。

FFコード（0x0c）がテキスト中に存在すると、改ページ命令とみなし、改ページを行います。

HTコード（0x09）がテキスト中に存在すると、水平タブコードとみなし、水平タブ位置までスキップします。

< 書体名称一覧 >

欧文書体(スケーラブル文字)

フォント名称	グラフィック・セット	文字ピッチ (dpi)	文字サイズ	文字スタイル	ストローク・ウェイト	主書体
LinePrinter-Bold	ROMA KATA	固定	スケーラブル	直立体	ボールド	Line Printer
Ncourier	ISO*2 DIABLO*3 CN*4、 IBM*7、PS*8	固定	スケーラブル	直立体	ミディアム ボールド	Courier
Ncourier-Bold				斜体	ミディアム	
Ncourier-Italic						
Swiss	ISO*2 DIABLO*3 CN*4 IBM*7 PS*8	PS	スケーラブル	直立体	ミディアム ボールド	Swiss
Swiss-Bold				斜体	ミディアム ボールド	
Swiss-Oblique						
Swiss-BoldOblique						
Dutch-Roman	ISO*2 DIABLO*3 CN*4 IBM*7 PS*8	PS	スケーラブル	直立体	ミディアム ボールド	Dutch
Dutch-Bold				斜体	ミディアム ボールド	
Dutch-Italic						
Dutch-BoldItalic						
Symbol	SYML SYMR	PS	スケーラブル	直立体 斜体	ミディアム ミディアム	Symbol
Garland-Medium-H	ROMA*6 N_KATA N_HIRA N_GRF	固定	スケーラブル	直立体	ミディアム	Garland
Garland-Medium-HP	ROMA*6	固定	スケーラブル	直立体	ミディアム	Garland
Mincho-Medium-H	ROMA*A	固定	スケーラブル	直立体	ミディアム	明朝体
RoundGothic-Light-H	ROMA*C	固定	スケーラブル	直立体	ライト	丸ゴシック体

* 書体の文字ピッチがPS（プロポーショナルスペース）の場合、書体名称に「=1」を追加して下さい。1.3 使用例の書体指定（6 ページ）に記載しております。

漢字書体(スケーラブル文字)

フォント名称	グラフィック・セット	文字ピッチ (dpi)	文字サイズ (ポイント)	文字スタイル	ストローク・ウェイト	主書体
Mincho-Medium	JIS*D	固定	スケーラブル	直立体	ミディアム	明朝体
Gothic-Medium	JIS*D	固定	スケーラブル	直立体	ミディアム	ゴシック
RoundGothic-Light	JIS*D	固定	スケーラブル	直立体	ライト	丸ゴシック体



グラフィックセット名称は記号で表します。
詳しくは9 ページ（グラフィックセット一覧表）を参照して下さい。

例) ISO*2は表（9 ページ）のISO*2の項目の中から選択します。

欧文書体（ビットマップ文字）

フォント名称	グラフィック・セット	文字ピッチ (cpi)	文字サイズ (ポイント)	文字スタイル	ストローク・ウェイト	主書体
ALP10	ROMA*1 KATA	10.00	12.00	直立体	ミディアム	Line Printer
ALP15	ROMA*1 KATA	15.00	7.20	直立体	ミディアム	Line Printer
ALP1125	ROMA*1 KATA	11.25	9.60	直立体	ミディアム	Line Printer
Ncourier10	ISO*2	10.00	12.00	直立体	ミディアム	Courier
Ncourier10B	DIABLO*3			ボールド		
Ncourier10I	CN*4 IBM*5			斜体		
Ncourier15	ISO*2 DIABLO*3 CN*4	15.00	8.16	直立体	ミディアム	
Ncourier17	IBM*5	16.66	8.16			
Ncourier20	ISO*2 DIABLO*3 CN*4 IBM*5	20.00	7.20			
GarlandPS11	ROMA*6	PS	10.80	直立体	ミディアム	Garland
	N_KATA					
	N_HIRA					
	N_GRF					



グラフィックセット名称は記号で表します。
 詳しくは9ページ（グラフィックセット一覧表）を参照して下さい。
 例）ISO*2は表（9ページ）のISO*2の項目の中から選択します。

グラフィックセット一覧表 <グラフィックセット名称は記号で表します。>

ROMA*1	ISO*2	DIABLO*3	ETW*4	IBM*5	IBM*7
ROMA	ISO_UK	88_UK	CN_CND	IBML	IBML
N_USA	ISO_USA	92_NL	CN_NL	IBMR1	IBML2
N_JPN	ISO_S/F	92_UK	CN_SWS	IBMR2	IBMR1
	ISO_N/D	92_SWD	CN_UK	IBM850	IBMR2
	ISO_JPN	92_GER	CN_USA	IBMP	IBM850
	ISO_GER	92_FRC	CN_SWD	IBM860	IBM819
	ISO_FRC	96M_UK	CN_N/D	IBM863	IBMP
	ISO_ITY	96M_USA	CN_JPN	IBM865	IBM860
	ISO_SPN	96M_S/F	CN_GER		IBM863
		96M_N/D	CN_FRC		IBM865
		96M_GER			IBM1004
		96M_FRC			TURKISH
		96X_USA			Win31L
		96P_UK			Win31R
		96P_USA			
		96P_S/F			
		96P_NOR			
		96P_GER			
		96P_FRC			

ROMA*A	ROMA*B	ROMA*C	JIS*D	PS*8
ROMA	ROMA	ROMA	J78	PSL
KATA	KATA	KATA	J90	PSR
HIRA	HIRA	HIRA		
N_hKEI	N_hKEI			

イメージ・フィルタ

標準入力からのイメージデータに LIPS のコントロールコードを付して標準出力より出力します。

2.1 使用方法

フィルタを使用してプリンタへイメージの出力を行なうには、以下のように行いません。

lp (SVR4)

lpスプーリングシステム (その1)

OS

Solaris 2.X
NEWS-OS 6.X
EWS-UX11.X
UnixWare 2.XJ
EPSON日本語SVR4
SCO OpenServer

書式

lp -d clips4ci [-y オプション*1] イメージのファイル名

lp (SYSV)

lpスプーリングシステム (その2)

OS

HP-UX9.0以上
IBM AIX 4.1以上

書式

lp -d clips4c -o image [-o "オプション*2"] イメージのファイル名

lpr (BSD)

BSD lpr

OS

SUN-OS 4.1.X
NEWS-OS 4.X

書式

cat イメージのファイル名 | upfclips4cif [オプション*2] | lpr -Pプリンタ名

注) プリンタ名は、「/etc/printcap」に登録された LIPS 用のスルーエントリーに読み変えてください。



- *1 オプション書式は、本マニュアルの「lp 起動」を使用します。
 - *2 オプション書式は、本マニュアルの「直接起動」を使用します。
- ulp (UPF-Server) の場合は、本マニュアルの「直接起動」を使用します。

2.2 オプション 本フィルタは、以下のオプションにて各種設定を行なうことができます。オプションを省略したり、オプションの書式を誤った場合には初期値にて動作します。

2.2.1 解像度 解像度を設定します。

書式	直接起動)	-r n1
	lp 起動)	dpi=n1
パラメータ	n1 : 解像度	
	LIPS2	n1 = 240
	LIPS3	n1 = 300
	LIPS4	n1 = 300, 400
初期値	LIPS2	:240 dpi
	LIPS3	:300 dpi
	LIPS4	:300 dpi

2.2.2 給紙装置 給紙装置を選択します。

書式	直接起動)	-pu n1[,n2]	
	lp 起動)	pinput=n1=n2	
パラメータ	n1 : 給紙装置		
	n1 = 0	... プリンタの設定に依存	
	1	... 標準給紙装置	
	2	... オプション給紙装置	
	3	... フロントトレイ	
	n2 : ビン番号		
	n2 = n	... ビン番号 [n= 整数]	
	初期値	プリンタの設定に依存	

2.2.3 用紙サイズ 用紙サイズを設定します。実際に設定可能な用紙サイズはプリンタに依存します。プリンタのマニュアルをご覧ください。

書式	直接起動)	-ps n1[xn2]
	lp 起動)	paper=n1[xn2]
パラメータ	n1 : 用紙名称、または用紙の幅	
	n1 =	A2 ... A2
		A3 ... A3
		A3+ ... A3ノビ
		A4 ... A4
		A5 ... A5
		A6 ... A6
		B4 ... B4
		B5 ... B5
		LT ... Letter
		HLT ... Half Letter
		LG ... Legal
		EXE ... Executive
		GLG ... Government Legal
		GLT ... Government Letter
		B ... Ledger
		F4 ... F4
		PCARD ... はがき
		MON ... Monarch
		C10 ... Commercial 10
		DL ... DL
		C5 ... C5
	w	... 幅 [w= 実数 (単位ミリ)]
	n2 : 用紙の高さ	
	n2 =	h ... 高さ [h= 実数 (単位ミリ)]
初期値	A4	

2.2.4 用紙方向 用紙方向を設定します。

書式	直接起動)	-po n1
	lp 起動)	landscape
パラメータ	n1 =	0 ... ポートレイト (縦置き)
		1 ... ランドスケープ (横置き)
初期値	ポートレイト	

2.2.5 マージン トップ、ボトム、レフト、ライト・マージンを設定します。

書式	直接起動)	-pm n1 n2 n3 n4
	lp 起動)	margin=n1:n2:n3:n4
パラメータ	n1 = n	... トップ・マージン [n= 実数 (単位ミリ)]
	n2 = n	... ボトム・マージン [n= 実数 (単位ミリ)]
	n3 = n	... レフト・マージン [n= 実数 (単位ミリ)]
	n4 = n	... ライト・マージン [n= 実数 (単位ミリ)]
初期値	それぞれ5ミリ	

2.2.6 白黒印刷 カラー画像を白黒で印刷します。

書式	直接起動)	-mo n1
	lp 起動)	mono
パラメータ	n1 = 0	白黒印刷を行わない
	1	白黒印刷を行う
初期値	白黒印刷を行わない	

2.2.7 ディザ制御 印刷データに変換するための2値化処理に使用するアルゴリズムを選択する。

書式	直接起動)	-di n1[n2]
	lp 起動)	
パラメータ	n1:使用アルゴリズム	
	n1 = 0	誤差拡散法 (3x2)
	1	誤差拡散法 (5x3)
	2	組織的ディザ法 ベイヤーパターン
	3	組織的ディザ法 渦巻パターン
	4	ランダムディザ法
	5	閾値使用、n2パラメータ (閾値)
	n2:閾値	
	n2 = n	閾値 [n= 実数]
初期値	n1:誤差拡散法 (3x2)	
	n2:0.5	

2.2.8 ハーフトーン ハーフトーン処理を選択します。

書式	直接起動)	-di n1[=n2]
	lp 起動)	dither=n1[=n2]
パラメータ	n1 : ハーフトーン処理	
	n1 = 0	... 誤差拡散法 (3x2)
	1	... 誤差拡散法 (5x3)
	2	... 組織的ディザ法 (ベイヤーパターン)
	3	... 組織的ディザ法 (渦巻パターン)
	4	... ランダムディザ法
	5	... なし (閾値使用)
	n2 : 閾値	
	n1 = n	... 閾値 [n=実数 (0.0 ~ 1.0)]
初期値	誤差拡散法 (3x2)	

2.2.9 ガンマ補正 ガンマ補正を行いません。

書式	直接起動)	-gm n1[,n2,n3]
	lp 起動)	gamma=n1:n2:n3
パラメータ	n1 = n	... 赤またはグレーのガンマ値 [n=実数]
	n2 = n	... 緑のガンマ値 (省略時、n1 使用) [n=実数]
	n3 = n	... 青のガンマ値 (省略時、n1 使用) [n=実数]
初期値	ガンマ補正なし	

2.2.10 カラーバランス カラーバランスを調整します。フィルタに与える値が負(-)の場合、色がうすくなります。フィルタに与える値が正(+)の場合、色が濃くなります。標準は0です。

書式	直接起動)	-va n1[,n2,n3]
	lp 起動)	val=n1:n2:n3
パラメータ	n1 = n	... 赤またはグレーの調整値 [n=整数 (単位%)、-100から100]
	n2 = n	... 緑の調整値 (省略時、n1 使用) [n=整数 (単位%)、-100から100]
	n3 = n	... 青の調整値 (省略時、n1 使用) [n=整数 (単位%)、-100から100]
初期値	カラーバランス調整なし	



カラーイメージをカラーレーザープリンタに出力する場合、ガンマ補正の赤、緑、青を全て 0.6 に設定すると印刷品質が向上することがあります。

2.2.11 コントラスト コントラストを調整します。フィルタに与える値が負（-）の場合、明暗の差が少なくなります。フィルタに与える値が正（+）の場合、明暗の差がはっきりします。標準は0です。

書式 直接起動) -co n1
 lp 起動) con=n1

パラメータ n1 = n ... コントラスト調整値 [n=整数(単位%)、-100から100]

初期値 コントラスト調整なし

2.2.12 彩度 彩度を調整します。フィルタに与える値が負（-）の場合、色みがなくなりグレーに近づきます。フィルタに与える値が正（+）の場合、色みが強く鮮やかになります。標準は0です。

書式 直接起動) -sa n1
 lp 起動) sat=n1

パラメータ n1 = n ... 彩度調整値 [n=整数(単位%)、-100から100]

初期値 彩度調整なし

2.2.13 明るさ 明るさを調整します。フィルタに与える値が負（-）の場合、暗くなります。フィルタに与える値が正（+）の場合、明るくなります。標準は0です。

書式 直接起動) -br n1
 lp 起動) bri=n1

パラメータ n1 = n ... 明るさ調整値 [n=整数(単位%)、-100から100]

初期値 明るさ調整なし

2.2.14 X方向スケール イメージのX（横）方向のスケールを指定します。
 ル フィットオプションとは、排他的に取り扱って下さい。

書式 直接起動) -xs n1
 lp 起動) xs=n1

パラメータ n1 = n ... X方向スケール値 [n=実数(単位%)]

初期値 実倍(100%)

- 2.2.15 Y方向スケール イメージのY（縦）方向のスケールを指定します。
フィットオプションとは、排他的に取り扱って下さい。
- | | | |
|----|--------|--------|
| 書式 | 直接起動) | -ys n1 |
| | lp 起動) | ys=n1 |
- パラメータ n1 = n ... Y方向スケール値 [n=実数 (単位%)]
- 初期値 実倍 (100%)
-
- 2.2.16 フィット イメージのサイズを印字範囲にフィットさせます。
X方向およびY方向スケールオプションとは、排他的に取り扱って下さい。
- | | | |
|----|--------|--------|
| 書式 | 直接起動) | -fi n1 |
| | lp 起動) | fit=n1 |
- パラメータ n1 = 0 ... 印字範囲の縦横比の小さい方にフィットさせる
1 ... 印字範囲の横方向にフィットさせる
2 ... 印字範囲の縦方向にフィットさせる
- 初期値 フィット処理を行なわない
-
- 2.2.17 X方向配置 イメージのX（横）方向の配置位置を指定します。
レイアウトオプションとは、排他的に取り扱って下さい。
- | | | |
|----|--------|-------|
| 書式 | 直接起動) | -x n1 |
| | lp 起動) | x=n1 |
- パラメータ n1 = 0 ... X方向配置位置 [n=実数 (単位ミリ)]
- 初期値 レフトマージン位置
-
- 2.2.18 Y方向配置 イメージのY（縦）方向の配置位置を指定します。
レイアウトオプションとは、排他的に取り扱って下さい。
- | | | |
|----|--------|-------|
| 書式 | 直接起動) | -y n1 |
| | lp 起動) | y=n1 |
- パラメータ n1 = 0 ... Y方配置位置 [n=実数 (単位ミリ)]
- 初期値 トップマージン位置

2.2.19 レイアウト イメージのレイアウト位置を指定します。
X方向およびY方向配置位置オプションとは、排他的に取り扱って下さい。

書式	直接起動)	-la n1
	lp 起動)	layout=n1
パラメータ	n1 = 0	... 用紙の左上
	1	... 用紙の右上
	2	... 用紙の中央
	3	... 用紙の左下
	4	... 用紙の右下
初期値	用紙の左上	

2.3 使用例 イメージフィルタのオプションの使用例を以下に記述します。

解像度指定 印刷解像度を720dpi にしたい場合

```
lp (SVR4)      lp -d clips4ci -y dpi=720 XX.xwd
lp (SYSV)      lp -d clips4c -o image -o "-r 720" XX.xwd
lpr (BSD)      cat XX.xwd | upfclips4cif -r 720 | lpr -Pclips4c
```

用紙サイズとマージン指定 用紙サイズをB5、マージンを上5mm、下14mm、左25mm、右20mm にしたい場合

```
lp (SVR4)      lp -d clips4ci -y paper=B5 -y margin=5:14:25:20 XX.xwd
lp (SYSV)      lp -d clips4c -o image -o "-ps B5 -pm 5 14 25 20" XX.xwd
lpr (BSD)      cat XX.xwd | upfclips4cif -ps B5 -pm 5 14 25 20 | lpr -Pclips4c
```

用紙方向の指定 用紙方向をランドスケープ（横置き）にしたい場合

```
lp (SVR4)      lp -d clips4ci -y landscape XX.xwd
lp (SYSV)      lp -d clips4c -o image -o "-po 1" XX.xwd
lpr (BSD)      cat XX.xwd | upfclips4cif -po 1 | lpr -Pclips4c
```

ハーフトーン処理の指定 ハーフトーン処理を誤差拡散法（5x3）にしたい場合

lp (SVR4) lp -d clips4ci -y dither=1 XX.xwd

lp (SYSV) lp -d clips4c -o image -o "-di 1" XX.xwd

lpr (BSD) cat XX.xwd | upfclips4cif -di 1 | lpr -Pclips4c

X方向、Y方向スケールの指定 X方向スケールを80%、Y方向スケールを120%にしたい場合。

lp (SVR4) lp -d clips4ci -y xs=80 -y yx=120 XX.xwd

lp (SYSV) lp -d clips4c -o image -o "-xs 80 -ys 120" XX.xwd

lpr (BSD) cat XX.xwd | upfclips4cif -xs 80 -ys 120 | lpr -Pclips4c